

富士宮西ロータリークラブ 会報



Rotary



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリークラブ第2620地区 2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
会長 今村 一徳 幹事 矢部 英樹



例会場より

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週 夜間
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 ゲストハウス フォレストヒルズ内
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.15 通算1468号 2021年11月12日(金)

ゲスト&ビジターの紹介

ゲスト・ビジターはありません

会長挨拶

会長 今村 一徳 君

今週月曜日に富士宮市PTA連絡協議会への書籍贈呈式が行われました。教育長を初め校長会長、富士宮市内の各小中学校のPTA会長全員が参加していただき、取材に岳南朝日新聞社、富士ニュース社が来ていただきました。



この事業は以前、私が富士宮市PTA連絡協議会に所属していた時、予算のことで大変な苦勞をした覚えがあり、当クラブからのPTAへの書籍贈呈活動を奉仕事業の一環として提案させていただきました。現在も当クラブの継続事業として今年度も続けさせていただいているものです。

PTA連絡協議会とは、公立の小学校・中学校のPTA組織のことです。ロータリーと同様に各学校PTAが基本で、市町村の富士宮市PTA連絡協議会、県の静岡県PTA連絡協議会、国のPTA連絡協会で構成されています日本PTA連絡協議会が最上層部です。日本PTA連絡協議会は直接、文部科学省への提案ができる大きな組織になっています。

PTAは本来、保護者と教員で構成された学校教育を考える組織なのに、現在のPTAは一部のPTA反発保護者や、不参加保護者のために参加者が少ないうえに限られた予算で運営しているの、子供たちにできる活動は、限ら

れた予算で運営しているの、できません。私がいたときに、年会費10円値上げに対して3年かかりました。私は、僅かな力とは思いますが、私たちロータリーとして未来を支える子供達にできることを提案し続けられればと、感じています。

幹事報告

幹事 矢部 英樹 君

別紙の幹事報告を参照ください。

出席委員会報告

欠席者☆外木規之 ☆細野芳男 ☆宇佐美量三 ☆赤池次郎 ※仲亀秀樹。 渡辺弘光 渡邊奈津実、石田道彦 遠藤壽男 早川英寿 ☆※出席免除者

	計算会員数	出席	欠席	M U	比率
今週	21	16	5	0	76.2%

スマイルボックス

- ◎楽しく飲みましょう(今村会長)
- ◎研修&親睦委員長様 本例会開催までの段取りありがとうございました(矢部英樹幹事)
- ◎飲みつぶれない程度に飲みます(若林眞治君)
- ◎クラブ親睦ゴルフ表彰金をスマイル(近藤憲司君)

お祝い・記念日

結婚記念日 石川俊洋君 昭和62年11月7日
入会記念日 仲亀秀樹君 平成30年11月16日

【会報委員会】 委員長：伊原謙治 委員：仲亀秀樹 片岡博昌 石田道彦 近藤憲司 斉藤邦男

本日のプログラム：「お酒にまつわる思い出話を語ろう」

親睦委員会・研修委員会主催の『お酒にまつわる思い出話』 皆さんから提示いただいたメモを整理しました。ご覧ください。

- ◇片岡博昌会員：高校3年の夏休みを利用して予備校で毎日試験で苦しく、一人さびしく、猛勉強で涙していました。
浪人中の先輩の部屋にはウイスキー・ブランデーが本棚に並んでいるのを盗み飲みした翌朝の登校電車の中で、発車と同時に革が回って座っている女性の膝の上にちゃっかり座ってしまい、真っ赤になり、恥ずかしい田舎の学生でした。これが初めての二日酔いでした。
- ◇後藤憲治会員：酔いつぶれ3種：① 高校生の時、中学3年生のところで酔いつぶれたこと、② 大学生の時、Red など安い酒を飲み酔いつぶれたこと、③ JC時代に、たちばなの大部屋でとり残されたこと。隔世遺伝でお酒は飲める方です。
- ◇貫名英舜会員：早稲田大学とJR高田馬場駅の距離は約2キロメートル、走って12分。この間を全力で走った後、駅のスタンド酒場で焼酎一杯と塩豆で100円。走った後、一気に飲みすると一気にアルコールが回る。気持ちがいい。しかし、15分経つとすっかり醒める。
- ◇遠藤克彦会員：コロナをのり越えてみんなで飲む幸せかな。
- ◇堀水東志夫会員：皆様、楽しくお酒を飲みましょう。
- ◇斉藤邦男会員：市役所に入って、初出勤の日に係長に居酒屋に連れて行かれ、大ジョッキに芋焼酎を1合、それにビール入れ(ビー中)、3杯は飲みました。これから飲兵衛の始まりで、いまだに直っていません。
- ◇加藤康雄会員：私は元来アルコールがダメで、大学でサッカー部の新歓コンパで、ビールをコップ半分で吐き、寝ていました。アルコール脱水構想が皆様のようにないためだと思われまふ。高校の修学旅行で酔っぱらった友人はその後、宝酒造に就職しましたが、若くして亡くなってしまいました。
- ◇岡村吉彦会員：大学体育会の納会で、酒に自信があるのでプレッシャーから解放され、ばか飲みしたら悪酔いし、1ヶ月弱酒に近寄れなかった。合宿中にクラブでビールを出し、合宿所を退去させられた悪い経験です。
- ◇竹田浩富会員：働き初めの頃、新宿ゴールデン街で、たこ八郎、タモリ等と飲みました。帰るときにはおかまちゃんに声をかけられました。
- ◇若林真治会員：「ジュニバーベリー」というジンの話をします。
- ◇今村一徳会員：うどん屋事件：酔ってうどん屋の近くの電柱にぶつかった。ケガをして救急車・警察出動の事件になった。おかげさまで今は元気です。
- ◇矢部英樹会員：酒は20代には鬼のように飲みました。一晩でブランデーを6本飲んだ記憶があります。毎晩飲み歩き、ボトルは必ず飲みきるようにしていました。しかし、今では一滴も飲めなくなってしまいました。現在は我が家では、母、嫁、娘は酒を楽しんでいますが、私と息子は一滴も飲まないで見えています。祖父、父、私、息子と4代、男は酒が飲めない家系です。
- ◇石川俊洋会員：結婚して3週間目。飲んで家に帰ったら家内がふとんの上で正座していました。
- ◇伊原謙治会員：飲みすぎてしまい、目が覚めて周りを見たら、知らない他人の部屋で、あわてて飛び出して逃げました。
- ◇大谷裕也会員：今はお酒を飲めない体質ですが、大学のサークルで一気飲みチャンピオンでした。真空飲みを披露！
- ◇近藤憲司会員：私がお酒を飲み始めたのは大学1年時に、母校が慶応大学に勝利し優勝した日からです。その日は明治神宮球場から早大キャンパスまで、提灯を掲げて公道を1時間余歩きました。キャンパスに到着し、予め用意されていたビールやお酒の美味かったこと。55年後の今でも思い出します。
また、T社勤務時は国内外の拠点訪問時、昼は本気の議論を、夜は酒を飲みながら、会社と個人の将来も含めて上司・同僚と語り合ったことも思い出します。70歳から減酒を始め、74歳の今はビール風味飲料を稀に飲むだけです。そのような次第で、『……酒は飲むべし百薬の長、酔うては枕す、美姫の腿、醒めては握る天下の権……』と放歌・吟詠していたのも、今は昔のことになりました。
- ◇稲原朝美さん：大学の体育授業でスキーの講師をやっていた時、浦佐スキー場の常宿の主人が出してくれた美味しい八海山をどんぶりで一気飲みし、トイレに走り去ったこと。

以上